

雌阿寒岳に入山する方々へ

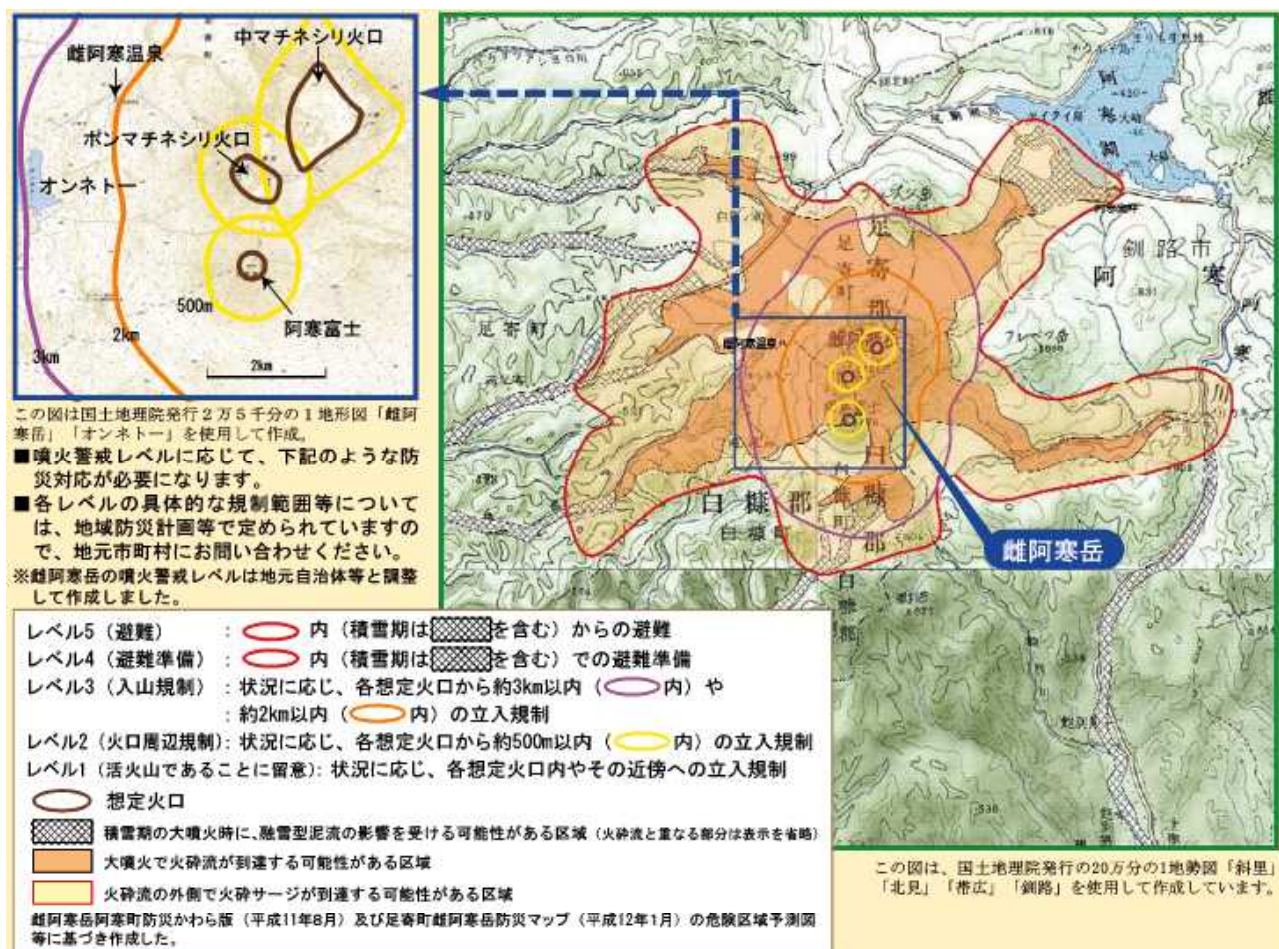
雌阿寒岳噴火警戒レベルの引き上げ

平成30年11月23日12時30分、気象庁札幌管区気象台は雌阿寒岳の噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

雌阿寒岳では、本年11月20日18時頃からポンマチネシリ火口付近の浅いところを震源とする火山性地震が増加し始め、23日0時頃からは更に増加して振幅の大きな地震も多くなっており、火山活動が高まっていると考えられます。

噴火警戒レベル2（火口周辺規制）の想定される現象等は、ごく小さな噴火が発生し、「大きな噴石」が火口周辺（約500メートル）に飛散したり、風下側では火山灰や小さな噴石が風に流されて降るおそれがあります。

雌阿寒岳では、短期間に地震増加が繰り返されるなど火山活動の高まりがみられます。雌阿寒岳は活火山であり、規模の小さな噴出現象が発生する可能性があるので注意して下さい。



（札幌管区気象台提供）